

政策シート

(政策名) 漁港などの基盤整備による水産業の振興
(予算費目名) 水産業振興推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

漁港などの漁業基盤整備により、漁業者の利便性向上や漁労活動の円滑化による水産業の振興を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	58,759	90,777
決算	51,972	
人件費(A)	8,400	8,400
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	60,372	99,177

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
水産業協同組合の年間取扱高(百万円)	百万円	9,084	目標	8,318	8,431
			実績	9,295	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

漁港などの漁業基盤整備により、漁業者の利便性向上や漁労活動の円滑化による水産業の振興を図る。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

漁港などの漁業基盤整備(村櫛漁港機能保全事業・県営漁港整備事業負担金)を実施し、漁業者の利便性向上や漁労活動の円滑化による水産業の振興を図った。

また、村櫛漁港区域内にある村櫛57号排水路護岸については施設の老朽化に伴う護岸傾斜により、倒壊の危険性があるため、9月補正にて測量設計業務を実施し、漁労活動の安全確保を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	漁港管理事業			○	○	99,177	90,777	1.2				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						99,177	90,777	1.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 漁港管理事業

◇事業目的・事業対象

漁港施設の維持管理や整備を行い、漁港機能を維持するとともに、漁業者の利便性及び安全性の向上と漁労活動の円滑化を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.24】

- 1 漁港維持管理事業
 - (1) 市営村櫛漁港の清掃・除草等管理業務委託
 - (2) 舞阪水産物荷さばき所施設用地占用料
 - (3) 漁港施設の適正な管理をするための備船調査費
 - (4) 漁港施設の突発的な破損等に対応するための修繕工事
- 2 漁港整備事業
 - (1) 村櫛漁港施設及び漁港区域内施設
 村櫛漁港臨海護岸機能保全工事(水産物供給基盤機能保全事業)
 村櫛57号排水路護岸改修工事(市単独事業)
 - (2) 静岡県建設事業等市町村負担金(県営舞阪漁港整備)
 水産流通基盤整備事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁港施設機能強化事業、県単独漁港整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	58,759	90,777
	決算	51,972	
	国・県支出	11,765	12,000
	市債	26,700	70,900
	その他	2,730	2,767
	一般財源	10,777	5,110
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		8,400	8,400
人工	正規	1.2	1.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
水産業協同組合の年間取扱高(百万円)				—	24
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	8,318		8,613		9,084
実績値	9,295				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
村櫛漁港整備進捗率(%)				—	24
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	57		90		100(H31)
実績値	47				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 08 01 01711000

(担当課)
農業水産課

(責任者)
高田 勝弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.24】

1 漁港維持管理事業

- (1)市営村櫛漁港の清掃・除草等管理業務委託
- (2)舞阪水産物荷さばき所施設用地占用料
- (3)漁港施設の適正な管理をするための備船調査費
- (4)漁港施設の突発的な破損等に対応するための修繕工事

2 漁港整備事業

(1)村櫛漁港施設及び漁港区域内施設

村櫛漁港臨海護岸機能保全工事(水産物供給基盤機能保全事業)

村櫛57号排水路護岸測量・設計業務委託(市単独事業)

(2)静岡県建設事業等市町村負担金(県営舞阪漁港整備)

水産流通基盤整備事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁港施設機能強化事業、県単独漁港整備事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

1 漁港維持管理事業

漁港施設を適切に管理するための施設の補修工事等を計画的に実施したことで、安全性の確保を図ることができた。

2 漁港整備事業

県営舞阪漁港における県の水産流通基盤整備事業及び水産物供給基盤機能保全事業、並びに市営村櫛漁港の機能保全計画に基づく保全工事を実施したことで、施設の安全性と利便性の確保を保つことができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目

小項目

/

事業費

人工

1 漁港維持管理事業

村櫛漁港における巡回・清掃等の業務委託や占用料、使用料を徴収することにより漁港の管理を図った。

2 漁港整備事業

村櫛漁港機能保全事業を継続実施することにより、漁港機能の長寿命化を図った。また、村櫛57号排水路護岸の老朽化により測量設計業務を実施し、漁労活動の安全確保を図った。

今後の方向性

大項目

小項目

/

事業費

人工

1 漁港維持管理事業

引き続き、村櫛漁港における巡回・清掃等の業務委託や占用料、使用料を徴収することにより漁港の管理を図っていく。

2 漁港整備事業

村櫛漁港機能保全事業を継続実施することにより、漁港機能の長寿命化を図る。また、村櫛57号排水路護岸の老朽化により改修工事を実施し、漁労活動の安全確保を図っていく。

・事業の分類

大分類

細分類

補助シート (事業名) 漁港管理事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
24	【漁港維持管理事業】 漁港施設の維持管理	【漁港維持管理事業】 漁港施設の維持管理	【漁港維持管理事業】 漁港施設の維持管理	【漁港維持管理事業】 漁港施設の維持管理
	【漁港整備事業】 1 市宮村榑漁港水産物供給基盤機能保全事業(国1/2)の実施 2 県営舞阪漁港整備事業市町村負担金の交付	【漁港整備事業】 1 市宮村榑漁港水産物供給基盤機能保全事業(国1/2)の実施 2 県営舞阪漁港整備事業市町村負担金の交付	【漁港整備事業】 1 市宮村榑漁港水産物供給基盤機能保全事業(国1/2)の実施 2 県営舞阪漁港整備事業市町村負担金の交付	【漁港整備事業】 1 市宮村榑漁港水産物供給基盤機能保全事業(国1/2)の実施 2 県営舞阪漁港整備事業市町村負担金の交付